令和5年
年頭あいさつ

飯南町長
塚原　隆昭

新年あけましておめでとうございます。
令和5年の初春を迎え、
町民の皆さまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は、町政の推進につきまして、
温かいご理解とご協力を賜わりましたこと、厚くお礼申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

町長に就任して間もなく2年が経過するところですが、今年は卯年、私も還暦となる年男です。

卯年にふさわしく飛躍や成長を感じられる一年になればと願っています。

昨年は、スポーツによって大きな感動や勇気をもらった一年であったと思います。夏には飯南高校野球部が、夏の甲子園出場を賭けた島根選抜大会で、創部以来最高成績となる準優勝を収め、多くの方々からの称賛を浴びました。他にも、町内の若者で構成する野球チーム「スラッガーズ」は、数々の予選を勝ち抜き、中国地区代表として全国大会へ出場しました。そして、サッカーワールドカップでの、日本代表チームが強豪国に勝利する姿には、最高の興奮と感動があったと思います。

こうしたスポーツによる若者たちの活躍は、人々に「何か自分たちもできるんだ」といった前向きな気持ちを生みました。まさに「将来に向かってやればできる」という「元気」「やる気」「本気」につながる効果だと思いました。

さて、コロナ禍での生活は、はや3年が経過しました。町内での感染や現在の第8波の広がりを心配しています。

オミクロン株対応へのワクチン接種は、希望される方へ昨年末までに終えることができ、ご協力いただいたことに感謝いたします。

長引くコロナ禍や急激な円安・物価高にあって、町民の皆さまの生活を応援するために、「元気回復券」や「プレミアム商品券」の発行を、冬季に向けては「灯油券配布事業」などを実施いたしました。

農業関係では畜産の飼料、農家の肥料、またトラック輸送事業者の燃料、福祉施設などでの電気代など、各分野における価格高騰に対し、生産者や事業者が廃業に追い込まれることがないよう支援を行いました。

また、公約として皆さまにお約束した、次の5つを重点的な政策として、町の最重要計画である総合振興計画に定める各施策に取り組みました。

①「子どもたちの声が聞こえるまちづくり（少子化対策）」
②「安心・安全なまちづくり」
③「産業が元気なまちづくり」
④「定住を進めるまちづくり」
⑤「歴史・文化を感じるまちづくり」

子どもたちの声が聞こえるまちづくりとして、みんなの広場来島交流センター敷地内に「こども広場」を設置しました。

安心安全なまちづくりとして、将来の福祉ビジョンを「高齢者福祉グランドデザイン」として策定することとしました。

産業対策として、町内の人材不足解消に寄与する人材派遣会社「飯南町地域づくり協同組合」は設立から2年目となり、組合員も21事業所、派遣労働職員も7人に増えました。

定住対策として、若年層への住宅購入の支援、町産材を多く使用する住宅建築への助成など、町内での経済循環も狙った取組を始めました。

教育では、少子化が進む中、本町の将来にふさわしい教育環境の在り方の検討に着手しました。

本年は、農業や福祉など各分野における担い手の確保や組織体制など、目の前の課題解決にもしっかりと取り組んでいかなければなりませんが、人口減少にも対応できるような新たな産業振興や、脱炭素社会の実現、自治体DX（デジタル化の推進）など中長期に取り組む課題にも、腰を据えて考えていく一年にしたいと考えています。

また、本町のブランドメッセージを「余白あります。」に決定したところであり、今後の魅力発信に活かしていきます。

結びに、町民の皆さまにとって住みやすい・住み続けたいまちとして、そして「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向け、しっかりと取り組んでまいりますので、町民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この一年、町民の皆さまには、お元気でお幸せに暮らしていただきますよう、心からお祈りし、年頭のあいさつといたします。